

# ☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年8月3日 VOL. 67

## 本市初の取組、高齢者移動支援研究会が始動しました！

平成30年7月27日(金)に、「高齢者移動支援研究会」の第1回目の会合を開催し、48人が出席しました。

この研究会は、かねてから高齢者の集いの場である「ふれあい会食会」や「ふれあいサロン」などに、加齢とともに自力で通えなくなった人に対するの支援が必要との地域住民の声が市や市社会福祉協議会に寄せられてきたことや、今後、さらに大きな課題となる高齢者の移動について、地域の力で対応する手法などを模索することなどを目的として立ち上げたものです。研究会には、参加を希望した5地区（瀬戸谷、葉梨、広幡、西益津、岡部）の地区社会福祉協議会の役員、市社会福祉



参加者に活発な議論を求める  
健康福祉部長

協議会の運転ボランティア事業担当者、生活支援コーディネーター、市シルバー人材センター職員、市地域包括支援センター職員が参加し、市の高齢者施策や交通、地域づくりなどに関係する部署6部局11課室が部局横断的に対応し、市を挙げて取り組んでいきます。

今回の第1回目の会合では、研究会の目的や研究内容、今後の進め方などについて確認するとともに、道路運送法による有償運送の規制や既存の公共交通との住み分けの必要性について説明を受け、移動支援の実施可能なケースを勉強しました。出席した地区社会福祉協議会の役員からは、「早期に地区で移動支援が実施できるよう作業を急ぐ



道路運送法による公共交通の位置づけについて説明する公共交通政策室職員

べき」「ニーズを把握するためのアンケートを地区で実施したい」などの意見が出され、今後、それぞれの地区で住民主体の移動支援の実施の可否を判断するため、各地区社会福祉協議会で意見調整を行うこととしました。

研究会では、概ね4回の会合の開催を予定し、実際に移動支援の事業を実施している他市の住民団体の代表者を招くなどして先進事例を学び、平成31年度の実施に向けて本市における高齢者移動支援のモデルケースを創出するべく取り組んでいきます。



説明を聞く研究会メンバー